

【水の里の旅コンテスト2017 応募企画】

【学生部門】

岐阜大学「やさ茶」学生プロジェクト

岐阜白川茶をめぐる旅

～白川郷に負けない魅力の発見～

観光地域：岐阜県加茂郡白川町

【 日 程 】	日帰り（オプションで1泊2日も可）		
【実施時期】	春・夏・秋（実施時期：5月，7月，10月）		
【催行人員】	12名（最少催行人員：4名）	【お勧めする旅行者層】	白川茶（日本茶）文化・伝統・歴史を感じたい若年層，または，児童・生徒とその保護者（児童・生徒の場合は保護者同伴）
【旅行代金】	3,940円（おとな1名） 2,960円（こども1名）	【内 訳】	
		JR 運賃（JR 岐阜駅～JR 白川口駅）：往復1,940円（高校生以上）・往復960円（小中学生） レンタサイクル代：500円 昼食代：1,000円（白川茶ペットボトル付） 茶摘み体験およびお茶淹れ体験の参加協力金：500円	
【 企画趣旨（伝えたいポイント及び旅行者が満足するポイント） 】			
岐阜県の特産品の一つである白川茶（日本茶）は，約450年の長い歴史と伝統をもち，白川町の清浄な水・土壌や気候のもとで育ち，高い香気などの特徴を活かしたブランドが構築されてきた．しかし，近年，茶葉生産地域である白川町の過疎化や少子高齢化が影響して，茶葉生産農家の後継者不足の課題が生じ，茶園の荒廃がみられるなど，白川茶ブランドの継続が危惧されている．本団体では，白川茶を知るきっかけにするため，岐阜大学の井戸水を用いた白川茶ペットボトル飲料（商品名：やさ茶）の開発・販売を実践してきた． 本企画は，旅の目玉である山々に囲まれた茶園での茶摘み体験や，お茶淹れ体験にて，白川茶のおいしさ，奥深さ，昨今利用が減少している急須の使い方等を学ぶことを通して，白川茶の味わいとその背景にある風景，文化や伝統・歴史を感じていただくことにより，魅力ある白川茶への関心を高めてもらい，そして，将来の白川茶葉の消費・生産量の増加，茶葉生産農家の後継者の確保に繋がることを期待したものである．また，日本茶やパイプオルガンなどの文化的な魅力だけでなく，飛水峡や伝統的な石積みのある茶園の風景を楽しむことにより，児童・生徒に対しては文化的な教養を育み，またその保護者層には心身のリラックス効果等を得ることができる旅であると考えられる．			
【安全確保のための配慮】		【旅行者の満足感を高めるための工夫、快い旅行にするための配慮】	
① 地元を知り尽くした白川町民ボランティアによるガイド ② 参加者への注意事項の徹底（危険箇所の周知，交通事故防止等） ③ 観光ルートの確認（マップ配布，案内板整備） ④ 緊急時連絡体制と対処方法の確保		① 里山・茶園の風景による癒し効果 ② 茶摘みやお茶淹れ体験を通じた白川茶の文化や伝統・歴史の発見 ③ 白川町の水で育った地元産のお米や野菜，加工食品等による食事 ④ 地元住民とのふれあい	
【 企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】	【 企画協力（後援）機関・団体名等】	【主な役割】
① （株）白川園本舗（茶匠）	広報 お茶淹れ体験の運営	② 宇津尾茶生産組合（茶葉生産農家）	ボランティアガイド 茶摘み体験の運営
③ 白川町役場	広報 観光ルート・手段の整備	④ （有） 白川町農業開発 （道の駅美濃白川ピアチェーレ）	昼食手配
【特記事項】	白川町をさらに満喫したい方： 美濃白川アウトドアリゾート「クオーレふれあいの里」に宿泊できます．宿泊希望される方は，JR 白川口駅にて解散後，ボランティアガイドが宿泊施設までお送りします．なお，宿泊費等は，旅行代金に含まれません（参考：バンガローは6,000円（6人用）～，コテージは20,000円（8人用）～）．		
【催行実績】	無し		

【 行 程 表 】

1 日 目	08:00 JR 岐阜駅に集合。JR 高山線の列車に乗車 ※JR 高山線沿いの風景（飛騨川、飛水峡や里山等）を車窓からお楽しみください。 09:30 JR 白川口駅に到着。レンタサイクルにて、道の駅・美濃白川ピアチェーレへ移動。 ※白川口駅付近の土木遺産・白川橋、白川町の町並み等を散策しながら、移動してください。 10:00 道の駅・美濃白川ピアチェーレに到着。ボランティアガイド（白川町民）に合流し、<u>地元産の弁当・お茶飲料</u> ペットボトルを受け取り、レンタサイクルとともに車にて出発。 ※車中にて、ボランティアガイドが<u>白川町・白川茶の歴史、風景の特徴等を説明</u>します。 11:00 <u>大山白山神社</u>に到着 レンタサイクルにて自由散策（ボランティアガイドとしばしお別れ） ※マップを片手に、<u>茶園（広野地区ほか）や里山の風景</u>をサイクリングしながらお楽しみください。この間に、 昼食を済ませてください。 13:00 茶園（宇津尾地区）に集合 <u>茶摘み体験</u>（所要：約 50 分） ※摘んだ茶葉の持ち帰り可 14:00 <u>茶葉加工工場</u>（宇津尾地区）に到着。工場内見学（所要：約 20 分） レンタサイクルにて移動。 15:00 道の駅・美濃白川ピアチェーレに到着（レンタサイクルの返却） <u>お茶淹れ体験</u>（所要：約 1 時間） 自由時間 ※美濃白川道の駅温泉、お土産、白川町グルメをお楽しみください。 ※5 月には、「新茶まつり」イベントが開催され、新茶の試飲や手揉み見学ができます。 17:00 JR 白川口駅へ移動。 ※ボランティアガイドがお送りします。 ※宿泊を希望される方は、美濃白川アウトドアリゾート「クオーレふれあいの里」に JR 白川口駅経由で お送りします。
-------	---

【 主な観光ポイント（観光地・観光箇所の歴史、由来、土産品など） 】

【JR 高山線の手窓からの風景 】	【JR 白川口駅とその周辺】	【道の駅・美濃白川ピアチェーレ】
 	 	 
JR 高山線では、濃尾平野を離れて山間に入る 辺りから、列車は飛騨川に沿って走り抜けます。 その車窓からは、水と緑が調和した自然 豊かな風景（写真上）が見られ、それによっ てエメラルド色に輝いた川はとても美しい ものです。白川町に近づくにつれて飛水峡 （写真下）と呼ばれる峡谷が続きます。岩盤 が川の流れるによって円形状に多くの穴が開 いた「飛水峡の甌穴群」は国の天然記念物に 指定されています。	JR 白川口駅（写真上）に到着すると、白川町 の中心街を眺めることができます。その中 で、白川橋（写真下）は、1926 年に竣工され た鋼製の吊り橋で、ワイヤーを吊る主塔が全 国的にも珍しい鋼トラス構造であり、2006 年に土木学会選奨土木遺産に登録されまし た。その他に、町内の工房で造られた大規模 なパイプオルガンも有名です。散策すれば、 自然や歴史を感じ取ることができます。	白川町は、1994 年より、イタリアのトスカ ーナ州・ピストイア市と姉妹都市交流を行っ ていて、イタリア色を取り入れたまちづくりも 進めています。道の駅（写真上）の名称であ る“ピアチェーレ”は、イタリア語で“はじ めまして”の意味で、集まった人たちが笑顔 で素敵な気持ちになれるように付けられま した。また、同じ敷地内にある「てまひまの 店」（写真下）では、地元産の食材を使って 昔ながらの製法で手間ひまかけた弁当が販 売され、この旅で楽しむことができます。

【大山白山神社】	【茶園の風景】	【茶摘み体験】
  写真下: (一社)岐阜県観光連盟の公式サイトより引用 http://www.kankou-gifu.jp/spot/4206/	 	 
大山白山神社は、標高 862m の白山頂上にあり、1,300 年の歴史を持っています。境内には「養老水」と「寛政水」という霊水が湧き出ていて長患いに良く効くとされています。他にも国の天然記念物に指定された大杉があり、周囲 8.9m、高さ 36m、樹齢 1,200 年有余といわれ、本社が創設された当時より神社の歴史を眺めながら成長しています。	大山白山神社より木々の間を抜けると整然とした茶園が広がってきます。茶園は、新茶の季節である春には淡い緑に染まり（写真上）、夏や秋に向かって深い緑に変化していきます（写真下）。また、棚田のように造られた石積み茶園も特徴的な風景です。このようにゆったりとした風景をレンタサイクルでお楽しみください。	茶摘み体験では、地元の茶葉生産農家さんから白川茶の栽培方法や収穫時期・方法を学ぶことができます（写真上）。今では機械による収穫が主流となっていますが、昔ながらの手摘みによる収穫体験ができます（写真下）。自分で収穫した茶葉は持ち帰ることができますので、ご家庭で茶葉を用いた料理（天ぷらがオススメ）をご賞味ください。
【茶葉加工工場】	【お茶淹れ体験】	【新茶まつり】
 	 	 
収穫した茶葉を新鮮うちに荒茶にする加工場です。荒茶とは茶匠さんが煎茶などに加工する前の状態のものです。この加工場に近づくにつれてお茶の香りが漂ってきます。工場内では、農家さんの説明を聞きながら、お茶の酸化を止めるための蒸す・揉む・乾かすの各工程を見学できます。繁忙期には 24 時間稼働しているとのこと。	お茶淹れ体験では、茶匠さんから、急須の使い方、お茶入れの作法を学びます。そして、白川茶の深みある味わいを知るとともに、お湯の温度や茶葉の種類による、味わい、香りの違いを楽しむことができます。淹れ方によって、様々な旨味、渋味、甘味に変化するお茶を体験して、自分の好みを見つけてください。	毎年 5 月には、道の駅・美濃白川ピアチェーレにて、茶匠さんらによって、新茶まつりが開催されます。このまつりでは、新茶の試飲、茶葉の天ぷらの試食、新茶葉商品の販売が行われ（写真上）、煎茶にする手揉みの実演（写真下）や、つきたてのお茶餅も振舞われます。5 月の旅に参加すれば、年に一度の一大イベントに遭遇することもできます。

【美濃白川道の駅温泉，お土産】	【白川町グルメ】	【クオーレふれあいの里】
 	 	 
道の駅・美濃白川ピアチェーレには、アルカリ性単純温泉が湧き出る，入浴施設があります（写真上）。旅の疲れを癒すのにぴったりです。お土産には，お茶をはじめ，白川ハム，地酒（せんぐりせんぐり），檜製品（写真下），漬物等の地域特産品をオススメします。白川ハムは道の駅敷地内で作られています。	道の駅・美濃白川ピアチェーレでは，地元白川町産の新鮮な食材を使ったグルメを楽しめます。中でも，ハム串カツ定食（写真上），地元の佐見豆腐を使ったおみぞれ丼（写真下），お茶ソフトクリーム，こんにゃくいなりがオススメです。	美濃白川アウトドアリゾート「クオーレふれあいの里」は，キャンプエリア，コテージエリア，公園エリアなどに分かれており，様々なアウトドアシーンに対応した場所で，里の中では，白川での川遊び，マス釣り，パターゴルフのほか，地元食材を使った料理や，本場のピザ釜で焼く，イタリアンピッツァを楽しむことができます。